



松山通信 6・7月号

Matsuyama Press

第2号

発行日:平成28年7月20日

9・10月の行事予定

- 9月 1日(木) 始業式、学校祭準備
- 9月 2日(金) 担任面談
~9日(金)
- 9月 20日(火) 学校祭準備 (4限)
~27日(火)
- 9月 28日(水) 学校祭予行 (3、4限)
- 9月 29日(木) 学校祭 (体育の部)
- 9月 30日(金) 学校祭 (文化の部)
- 10月 3日(月) 生徒集会
- 10月 11日(火) 生徒会選挙
- 10月 25日(火) 中間考査
~28日(金)
- 10月 28日(金) 生徒集会

楽しかった修学旅行



7月6日(水)~8日(金)に、3・4年生が2泊3日の日程で関東方面に修学旅行に行きました。

初日は新幹線で移動した後に、東京ディズニーランドに行ってきました。初めてディズニーランドに行く人がほとんどで、まず人の多さと、スケールの広大さに圧倒されてしまいました。しかし、そこは夢の国だけあって、普段楽しむことができないアトラクションや、パレード、お土産品などを見ているうちに気分が高揚し、とても楽しむことができました。

2日目は班別自主研修でした。それぞれのグループであらかじめ秋葉原や中目黒、お台場、池袋などにある観光スポットやアニメイトなどを見学したり、散策を行ったりと、とても有意義

な時間をすごしました。自主研修の後、東京駅に集合すると、「極まるTOKYO夜景」を楽しみました。はとバスに乗って、東京タワーやレインボープリッジ、歌舞伎座など夜の顔に姿を変えた東京の町並みを見て回り、都会ならではの幻想的な夜景に酔いしれました。

最終日は東京スカイツリー見学と、浅草を観光してきました。スカイツリーの展望台に上ると、東京の景色を一望することができ、その圧倒的な高さ絶景に言葉を失ってしまうほどでした。

楽しかった修学旅行を終えて岡山に帰ってきた生徒達は、疲れは残るものの、まだ旅行を楽しみたいという表情を浮かべていました。



岡山県定通春季バドミントン大会

6月4日(土)に倉敷体育館で岡山県定通春季バドミントン大会が行われました。本校からは、江藤元二君(4年)、松本和希君(3年)、大森雅弘君(2年)、高梨真柊君(1年)、藤本拓実君(1年)が男子シングルスと男子ダブルスに参加しました。初めて試合に出場する選手が多く、試合前にはかなりの緊張感がありましたが、他の生徒や先生の応援をうけ、熱戦を繰り広げていました。放課後の練習の成果もあり、とても内容のある大会になりました。秋季大会ではさらなる活躍を期待しています。



7月13日(水)にボルカ1階のセントラルコートをお借りして、「マツコウ・DE・Night」を実施しました。

この活動では、展示やチャリティーバザー、縁日、理科の実験などを生徒が中心となつて行いました。また、団扇を配りながらの呼び込みも行いました。前日には、それぞれの担当になった生徒が必要な物の準備などを行いました。ヨーヨー釣りの道具の作成に戸惑ったり、バルーンアートの作成が上手くできなかったりと苦労をしていました。当日は、接客に慣れていない生徒も多く、ぎこちない様子でしたが、時間が経つにつれて、接客に対する照れも減っていく、来場された方にとっても楽しんでいただくことができました。

今回の活動で地域の方に松山高校についてより知っていただくことができたと思います。皆さんお疲れ様でした。

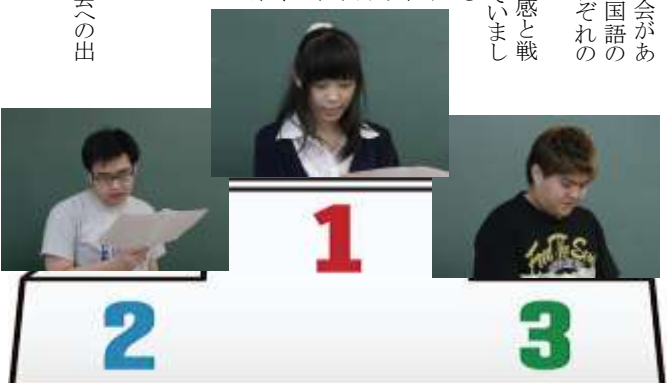


校内生活体験発表

7月15日(金)に校内生活体験発表会がありました。この日に向け、ホールルームや国語の授業、さらに放課後などを使って、それぞれの体験や想いを作文にしてみました。

発表会では、人前で発表をする緊張感と戦いながら、みんな一生懸命に発表をしていました。日ごろの学校生活を振り返ったもの、これからの自分に対する決意や目標を述べたもの、学業と仕事の両立の中で得たことなど、一人ひとりの確かな気持ちがあふきました。全員の作文は、年度末に「五月に芽生えたもの」という冊子にまとめられる予定です。発表会の結果は次の通りです。

- 一位 三村 知里 (3年)
「出来ることから頑張る」
 - 二位 大森 雅弘 (2年)
 - 三位 柴倉 陸 (4年)
- (これにより、一位の三村さんは県大会への出場権を得ました。)



防災避難訓練

6月7日(火)に防災避難訓練を行いました。高梁消防署より職員の方に来ていただき、ご指導と講話をいただきました。

今回の避難訓練は、職員室で火災が発生したことを想定して、各JR教室から正門付近への避難を行いました。生徒は緊張感をもって迅速に避難をすることができました。その後、訓練用の消火器を使って、消火器の使い方方を学びました。消防署員の方の講話では、熊本地震の画像を交えて、岡山県近郊で地震がおきた際の高梁市の被害予想や、被災した場合には何が出来るのか、また、事前にできる防災対策についてお話をいただきました。

万が一のときには、今回の訓練が活かされるように確認をしておきましょう。



交通安全教育

5月31日(火)に高梁自動車教習所で交通安全教育を行いました。

普通免許を持つている生徒は、運転のシミュレーションができる機械で、実技講習を行いました。また、免許を持つていない生徒は、指導員の方の運転で急ブレーキの危険性を学んだり、携帯電話を操作しながらの歩行の危険性について体験しました。携帯電話を操作していたり、イヤホンを利用して音楽を聴きながら歩いていると、他の歩行者や、後ろから迫ってくる自動車に気付かなくなるとも危険な状態にあることを実際に体験して学びました。その後、道路交通法や自身のできる安全対策について講習を受けました。くれぐれも交通安全には気を付けましょう。



救急救命法講習

7月11日(月)に、AEDを用いた救急救命法講習会を行いました。

高梁消防署より職員の方に来ていただき、急病者が出たときの対処法として、胸骨圧迫・人工呼吸・AEDの使い方方を教えてくださいました。対処法について説明を受けた後、人形を使って実技講習を行いました。参加した生徒は、消防署員の方の指導の下、真剣に実技に取り組んでいました。署員の方は「実際にこのような場面になると勇気がいると思うが、出来ることをしてもらいたい」とおっしゃっていました。正しい知識と一歩踏み出す勇気を持つて、いざというときに動けるようにしましょう。



1. 教育方針

学びつつ働くことのできる夜間定時制高校としての特性を生かし、生徒、保護者、地域社会から信頼される学舎として、自ら求めて学ぶ人物の育成に努める。

2. 教育目標

- (1) 地域社会への貢献と協働の精神の育成
- (2) 豊かな知性と情操に基づく文化的想像力の育成
- (3) 勤労を尊び、責任を重んじる職業観・勤労観の育成

岡山県高梁市立松山高等学校



電話 0866-22-3618
FAX 0866-21-1007
HP: <http://www.sc.city.takahashi.okayama.jp/matsuyamako/>

検索キーワード
「希望の翼 松山高校」



働きながら学ぶ